

8月23日に、恒例の納涼会が開催されました。今回の会は嗜好をこらして、落語を聴いてから食事をするプランにしました。参加人数は、チョット少ない19名の方に出席して頂きました。

会場は、お寿司屋の2階の特別ステージです。2階の会場に上がってびっくりしました。赤毛氈が敷かれた高座に、高そうな大きめの座布団がのっけていて、本格的な高座でした。客席は、普通の8畳に人数分座布団が敷かれていました。

鷺野さんの司会・井上会長の挨拶が済み、いよいよ開演です。芸名が「夢家道楽」で演目は「大工しらべ」です。腕はいいがのんびりした「大工の与太郎」が主人公です。住まいの長屋の棚賃を貯めてしまい、棚賃がわりに大工道具を大家に取り上げられてしまいました。仕事を頼みにきた棟梁が、何とか大家から大工道具を返してもらおうと掛け合いますが、喧嘩になってしまうお話です。終わりの喧嘩の場面での棟梁と大家のスピードある、べらんめえ調のしゃべりと、与太郎の間の抜けた返事に会場中大笑でした

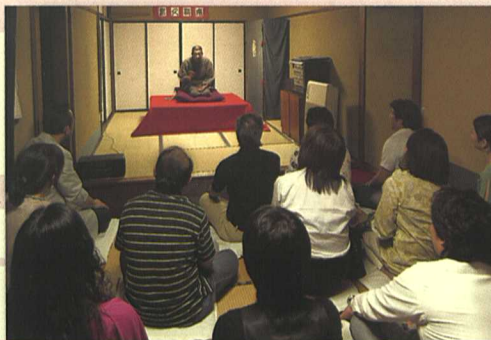


懇親会は、1階のお店の戻り、黒田 IPEC 担当理事の乾杯で始まりました。食事は、江戸前のこぶりの握りの寿司です。とても美味しかったです。

恒例のゲームの時間です。いよいよ我ら交流委員会代表の吉沢さんの出番です。今回は、ビンゴでもジャンケンでもなく、クイズに答えて景品を獲得する方法です。問題は落語に関したもので、答えが添えてあり(1)か(2)で答えて、約半数位の正解者が、今度は魚偏の文字を答えてもらい、早く答えた人が景品をもらえる方法です。

そんな問題の中で難しかったのが、「鱈」と「鯡」のふたつでした。なんて読むか考えてください。最後の問題が、高座で使用している座布団のお値段です。答えは 10,000円でした。正解者はいませんでした、ニアピンの方に景品が渡りました。

大変楽しい納涼会でしたが、時間となり大場委員長の締めで閉会となりました。



正解は鱈「がすのこ(数の子)」、鯡「にしん(鱈)」ってことは親子!!

IPEC出展者募集



IPEC 担当理事 黒田 実

インテリアのプロと企業をつなぐ国際展示会とセミナー 2008年11月19日[水]~22日[土] 東京ビッグサイト

今年もIPECが開催されます。インテリア・デザインユニット/デザイナーズ・ショーケース/100マテリアルズの3つの提案で構成される展示は必見です。

- 1) SPACE 空間提案「インテリア・デザインユニット」21世紀のインテリアビジョンを打ち出す企業が、これからの生活環境をリードしていく質の高い提案の場をつくりだす。
- 2) ELEMENTの提案「デザイナーズ・ショーケース」インテリアを中心に様々な分野のデザイナーがプロの立場から自由に闊達に未来に向けて提案・発表する場をつくりだす。
- 3) MATERIALの提案「100マテリアルズ」企業提供の新しい素材そのものの展示は来場されるデザイナーの創作意欲をかきたてる場をつくりだす。

11月20日に開催される『JIPA交流会』には、静岡県インテリアプランナー協会も全国の協会とともに参加、活動報告を行います。